



会報 No.132 平成30年7月号

## ■ 子ども達の幸せを願って ■

一般社団法人八王子市私立保育園協会 会長 宮崎 豊彦

平成30年5月29日に総会が開かれました。八王子市私立保育園協会が一般社団法人となって初めての総会でしたが、会員園の皆様のご協力により無事に終了することができました。心より感謝申し上げます。

平成30年度の事業計画に基づいて八保協の各部会・委員会も活動を行っております。6月27日には、予算要望の保育政策提言書を八王子市の担当課へ提出致しました。今後は、石森市長様、伊藤市議会議長様との懇談会を通して予算要望の趣旨説明を行っていく予定です。7月19日には、八王子市私立保育園協会と八王子市医師会、八王子市私立幼稚園協会の連名による「3歳児健診での視機能簡易検査導入について」の要望書を提出させていただきました。また、今年度の活動に挙げたキャリアアップ研修会も近隣で協力して下さる養成校と話し合いを進め、複数校で多くの回数を開けるように努めており、ご案内を早めにする予定で進めております。職員紹介事業については、今後内容面について検討し、会員園の皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。ホームページの開設については、今年度中に出来るだけ早めに目途をつけられるようにしていきたいと思っております。

各部会・委員会の活動につきましては、今後共ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

国では、平成30年6月15日の閣議決定で幼児教育・保育の無償化が取り上げられ、3歳から5歳までの

すべての子ども達の保育料を2019年10月から無償化とする議論が進んでおります。併せて幼稚園の預かり保育への補助及び認可外保育施設の認可保育施設への移行を加速化することを含めての補助もあり、今後の推移を注視していかなければなりません。

社会福祉法人改革があり、保育所保育指針の改定があり、そしてキャリアアップ研修会への保育士の参加、3歳児から5歳児の保育料の無償化等々、われわれ保育園を取り巻く環境が目まぐるしく動いております。無償化による育児放棄が進まないかとの心配をしながら、児童虐待、クレーム対応、気になる子への対応等問題や課題がますます増えています。私達が社会の中でやらなければならないことを考えると共に乳幼児保育の大切さをもう1度見直し、どう対応していかなければならないかを見つめ、考えてみる事が大切なのではないだろうかと思っております。一人ひとりの子どもを大切に作る保育とは何なのか、個人差に配慮した保育の実践とはどのようにしていくことなのか、大きく変化していく流れの中で一度立ち止まってしっかりと考え、進むべき方向性を見定めていかなければならないのかもかもしれません。私立保育園のそれぞれの特色を生かし、時代の流れに翻弄されることなく、目の前にいる子ども達をしっかりと育てていかなければなりません。

これからも会員園の皆様と共に子ども達の幸せを考えながら、ご理解、ご支援をいただき共に歩んで参りたいと思っております。

# 平成30年度 一般社団法人 八王子市私立保育園協会 定期総会報告

平成30年5月29日に京王プラザ八王子にて、定期総会を行いました。

開会前に業者説明があり、(株)クリエイト・(株)keystage21・(株)アオスフィールド・大原学園・(株)関電工・ALSOK・JAXAと計7社、人権擁護委員さんから活動について説明がありました。

開会のことばを、榊原副会長にして頂き、宮崎会長より、ご挨拶がありました。

平成という年号で総会を開くのは今回が最後になり、来年は新年号での開催になります。

一般社団法人としては、初めての総会になります。

八王子市より行政説明がありました。

福祉部指導監査課久間課長より、法人検査の指摘事項は次回監査に手直しをお願いします。法人検査は3年に1回で、施設検査は毎年検査を行いたい。都に確認したところ、重大な指摘事項が改善されていない場合は、運営費の弾力運用については、これを一切認めないとの事で、昨年度の検査結果ではこれに該当する法人は無かったとの事でした。

保健福祉センターより、4つの柱の説明と産後検診、3歳児検診の推進をしています。



子どもしあわせ課小島氏より、赤ちゃんふれあい事業の説明と平成30年度保育・特別支援教育コーディネーター研修の案内、保幼小連携では就学支援シートや保幼小連携の日、保育所での教職員の研修などを行いたい。とお話を頂きました。

東京都福祉サービス推進機構梶氏より、東京都福祉サービス第三者評価のご案内の説明をして頂きました。

事務局より、出席69園、欠席12園、委任状11園で、会則第13条にもとづき会員園82園のうち80園の出席及び委任状をもって過半数に達しましたので、本日の総会は成立します。議長の選出で、議長には、美山保育園梅野先生と副議長には、光明第三保育園高瀬先生が選ばれました。議事録署名人には、めぐみ第一保育園牛尾先生、敬愛高尾保育園中村先生、書記には、なみのり第二保育園石井先生が選ばれました。

梅野議長より、第1号議案平成29年度事業報告(案)決算報告(案)及び監査報告が行われ、役員会報告、各部会、委員会報告、青年部、特別委員会などの報告を行い、決算報告を多摩小ばと保育園秦先生と小林会計事務所の古川様より、報告を受け、





すべての審議は賛成多数で承認されました。

第2号議案平成30年度事業計画（案）の審議に移りました。宮崎会長より、平成30年度事業計画（案）を説明して、各部会、委員会、青年部、特別委員会と事業計画を説明しました。審議の結果、賛成多数で承認されました。

続きまして、第3号議案一般社団法人八王子市私立保育園協会会則改正（案）を行いました。本会の名称に伴い、第1号の名称を一般社団法人八王子市私立保育園協会に変更、また、事務所開設に伴い、所在地の変更を行いました。

一般社団法人化に伴い、より広範な施設から会員を募る為、第2条の記述を、非営利法人または個人が運営する認可保育園（幼保連携型及び保育所型認定こども園、小規模保育を含む）と改訂したい。第7条1項会長指名役員を3名から5名に変更して、併せて、役員総数を28名までに改訂したい。また、一般社団法人化に伴い、第16条を会計監査より、監事監査に改訂したい。と説明がありました。審議の結果、賛成多数で承認されました。

新規入会の保育園さんを紹介しました。一つ目は、わらべふじ森保育園（園長石政先生）八王子市立市役所内保育園（園長井上先生）賛成多数で入会を承認され協会会員は84園となりました。

以上で議案が全て承認されて、議長団は解散しました。

事務局より、今年度園長先生になった先生方を紹介します。

愛光大和田保育園 落合先生  
 敬愛保育園 伊藤先生  
 北野ひなた保育園 井上悠子先生  
 松枝保育園 高柳桜先生  
 光明第五保育園 石原先生  
 大塚保育園 高尾先生  
 敬愛きたの保育園 山田先生  
 若葉の丘保育園 小野寺先生

以上の先生方ご活躍を期待しています。

日本工学院八王子専門学校こども学科より、キャリア実習についての説明があり、東京教育専門学校より、夏季セミナーを8月26日に行う、内容は「10の姿を意識した指導計画と自己評価」。講師は島本先生が努めます。

永年勤続者の表彰式を行いました。今年の勤続者は13名で皆さん勤続20数年の経験豊富な方々です。

大塚保育園 主任保育士 上田 泰子先生  
 主任保育士 佐藤由美子先生  
 打越保育園 保育士 水間 綾乃先生  
 保育士 滝 奈美先生  
 八王子ふたば保育園 主任保育士 和田 啓子先生  
 めぐみ第一保育園 保育士 牛尾由美子先生  
 栄養士 鮎川 治美先生  
 さゆりの丘保育園 主任保育士 石田 啓子先生  
 由井さゆり保育園 主任保育士 竹内 良美先生  
 敬愛高倉保育園 副主任保育士 渡辺木綿子先生  
 城山保育園 保育士 清水 綾子先生  
 敬愛フレンド保育園 主任保育士 高橋 利香先生  
 主任保育士 浜田 綾子先生

謝辞は、八王子ふたば保育園和田啓子先生が努められました。

宮崎会長がご挨拶で、今年度は13名の表彰者で20年以上八王子の保育園での勤務をして頂き、有難うございました。会場に到場している理事長・園長先



生は感謝の気持ちで一杯なのではないでしょうか。また、皆さんのようなベテランの先生方がいて下さるので、安心してクラスを任せていけるのではないのでしょうか。若い先生方たちは少し注意すると怒られたと感じてしまいますが、先生方の保育の経験を生かして「保育って楽しんだよ」と伝えて頂きたい。私の好きな言葉に「心ここに在らざれば視れども見えず、聴けども聞こえず食らえども其の味を知らず」があります。心がうわの空でいると、目で見えているようでも実際は肝心なことが見えない。精神の集中が大切という意味です。心を大切にして保育に励

んで頂き、お体をご自愛下さい。本日は、おめでとうございます。

光宗副会長の閉会のことばで、今年度の定期総会は無事終了しました。

6時より、懇親会を行いました。沢山のご来賓の方々がご出席くださり、また石森市長よりご挨拶賜り、皆様と親睦を深められた気がします。

(石井)



# シリーズ 私の保育園

## 八王子市立市役所内保育園

園長 井上 雅 弘

点を積極的に取りに行くトゥトップは元気な若手保育士、指示を出し攻撃を組み立てるトップ下は副主任、そのトップ下と連携をとり前後に動くサイドハーフは中堅保育士、冷静に状況を把握して攻撃と守備をつなぎバランスをとるボランチは主任、ディフェンスはベテラン保育士、基本は守ることだけど、時には前に出るサイドバックに遅番・早番のパート保育士、守備の最終壁のキーパーは看護師、園長は監督で副園長はコーチ陣、理事会はJFA。八保協はFIFA？

世間では日本代表の躍進に伴いワールドカップが大いに盛り上がりました。

平成30年4月より八王子市立市役所内保育園の運営委託を任されることとなり、そこに園長として就任しました。当初は協会への加入要件が満たされていませんでしたが、会長、事務局長に様々な点でご配慮いただき、無事加入できたことを深くお礼申し上げます。総会の舞台に夫婦で登壇するとは稀らしく、自分たちの0歳児の子どもを伝統のある保育園に預け、日々を忙しく過ごしております。母と父がそれぞれ園長の子どもの預かるのは、保育園としては嫌だろうな～と思い気配を隠しながら過ごしておりますが、温かく子どもを保育してくださっていることが良く分かり、毎日のおたより帳が楽しみです。

八王子市立市役所内保育園は、多摩地域初の庁舎内の公設民営小規模保育所として開園しました。名称はこちらで決めておりません。園内は多摩産材が多く使用され、温かみのある内装となっております。議会の通過が遅かったため、二次募集からの申し込み受付となりましたが、16名の定員で0歳児4名枠と1歳児6名枠は埋まっており、現在は合計13名を受託しております。地域も北野町から梶原町の子どもた



ちが通っております。2月に実施した説明会では、八王子市内全域から30名ほどの参加者がおり、少々困惑いたしました。入所決定した園児たちは同地域でほとんどが固まっていたため、ほっとしました。目の前は浅川沿いになっており、桜が満開のころ入園式を園庭で行いました。近隣の保育園さんとも連携いただき卒園後も心配なく受託することができております。

公設民営の小規模保育所という、今までにない施設のため、制度や決め事など市の担当者と話し合いをすることが多く、市役所OBにアドバイスをいただきながら、間をとりもってもらい運営を行っております。先日あった公設民営園長会では、通常の認可保育所と異なった皆様の困り部分を聞くことができ、N西保育園のO塚先生の熱のあるご意見など大変参考になりました。また、施設に警備システムや防犯カメラを増設して導入いたしました。防犯カメラは公設民営のため、使用するためには八王子市の情報公開・個人情報保護運営審議会を通さなければいけなく、ICT化による補助金で認可保育園に防犯カメラの設置が認められているにも関わらず、民設民営からひとつ遅れた対応になっている部分に、今までの公設民営の先生方がやきもきしておられる気持ちが良く分かりました。現在も5万円の壁に苦勞しながら運営を行っております。

保育園を3つ新規開設していると、つくづく感じるのが主任の大切さです。次の開設準備が整った段階で、

園長よりも重要なのは主任の人事ではないでしょうか？また、次世代の主任も少しずつ考えなければいけません。ひなた保育園と北野ひなた保育園では、それぞれひなたの立ち上げから在職していた保育士が昇格をして主任を担ってくれており、



保育士をまとめてくれております。市役所内保育園では北野の立ち上げから在職していた職員が主任として異動してくれました。最前線に立つことができ、保育士に指導ができ、園長に迎合し過ぎず時には意見をぶつけてくれる。それでいて園長の意図も組み、園全体のバランスを保つことができる。またその背中を次世代の主任たちへ見せながら仕事をしてくれる。ゴールを決めるような目立つポジションではない前述のボランティアの位置の仕事量は非常に多く、これができる保育士は多くありません。時には前に出て、時には後ろに引く、これだけやることが多いと主任は自らなりたくてなるものではないかもしれません。しかし管理職側から見て、主任として最も重要な資質を持っていることを伝え、ステージをひとつ上がった時に自分の魅力に気づき、不安を自信に変えてもらう事も必要であると思います。当たり前のことですが、今回のワールドカッ

プの日本代表のように、監督である園長と現場のバランスを司る主任の関係性が保育園を安定させるための重要な要素であると感じました。



時間は早いもので、当法人も来年で10周年を迎えます。まだまだこれから色々なことが起きるかもしれませんが、これまで職員一丸となって乗り切ってきました。この市役所内保育園でも運営を任されたことに感謝をしながら、子ども達の未来を守れるよう一生懸命に子どものため、地域のために貢献をしていきたいと思ひます。

## 社会福祉法人清心福祉会 わらべふじ森保育園

園長 石 政 文 月

富士の山がきれいにみえる富士森にて平成30年4月より開園いたしました。

職員のコミュニケーションを大切にして、一つずつ積み上げえいく意識であたたかい保育をしていき



たいと思ひます。

年中・年長のお子様は少数ですが、少数だからこそできる経験もとりたい、それぞれが充実をした一年となるよう努力したいと思ひます。

子ども・保護者・地域・職員、みんなの笑顔がある保育園を目指して、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひします。

## 編集後記

4年に一度のワールドカップが始まり、毎日熱戦が続いています。

日本代表の活躍で、少し寝不足の方もいらっしゃる事でしょう。

先日行われた日本対コロンビア戦の後、日本のサポーターが進んで会場のゴミ拾いをしている姿に、共感したコロンビアのサポーターも、一緒になってゴミ拾いをしたという素敵な話がニュースで紹介されました。

勝敗に関係なく相手の考えや行為を認め、一緒になって良い行いをしていく、とても素敵な事だと思います。そして日本人の良さを知ってもらえると共に、お互いの心を通わせる一歩なったのではないかと思います。

今後もこういった素敵なエピソードが沢山出てくる事を心より願っています。

(高木)